



海・人・山が葉山の歩幅 ～暮らしのそばにある旅先～

葉山町レスポンスブルツーリズム



観光客の方へ
For Tourists



TABLE OF CONTENTS

海・人・山が葉山の歩幅 ～暮らしのそばにある旅先～	01
レスポンスブルツーリズムとは	03
葉山町レスポンスブルツーリズム 6つのお願い	04
No.1 静けさという贅沢を楽しみましょう	05
No.2 外出時のごみは持ち帰りましょう	06
No.3 暮らしを感じる「葉山歩き」	07
No.4 生態系を守るために	08
No.5 海や山のレジャーは自己責任で	09
No.6 地元のお店で、ていねいに	10



PHOTO by @akico100

海・人・山が葉山の歩幅 ～暮らしのそばにある旅先～



- ・自然と日常を大切にしながら、葉山を味わう旅のかたち

葉山町は、美しく豊かな自然に恵まれています。山々から流れる2つの川は、南北4キロメートルに及ぶ美しい葉山海岸を通じて相模湾へ注がれ、ここに人々の営みが息づいています。

鎌倉時代、源頼朝をはじめとする歴代将軍たちが葉山を訪れた記録が伝わっています。1887(明治20)年頃には、駐日イタリア公使マルチーノやベルツ博士らが温暖な気候と風光明媚な景観に惹かれ、別荘を構えました。その後、名士の別荘が続々と建ち、1894(明治27)年には葉山御用邸が竣工。葉山は名実ともに別荘地葉山となりました。

美しく豊かな自然と歴史の中で、町民は葉山を愛し、連綿と続く暮らしを紡いできました。
2025(令和7)年1月1日、町制施行100周年を迎えた今、町民一人ひとりの心に描く未来は、第五次葉山町総合計画に表した言葉に象徴されています。

「美しい海とみどりに 笑顔あふれる ところ温かな ふるさと葉山」

葉山には、大規模なレジャー施設や観光スポットはありません。

葉山にあるのは、美しく豊かな自然と、その中で営まれている人々の暮らしです。

私たちは葉山へ訪れるあなたにも、自然とともに生きる葉山の暮らしの一員として、ここでの時間を重ねていただきたいと願っています。

- ・葉山の歩幅とは

歩幅は、人それぞれで違うように
暮らし方も、それぞれの町で違います。

美しい海・人々の営み・豊かな山々。
三位一体の織りなす風景が、葉山の時間と町民の歩幅です。葉山を訪れるあなたも、この歩幅にリズムを重ねてほしい。

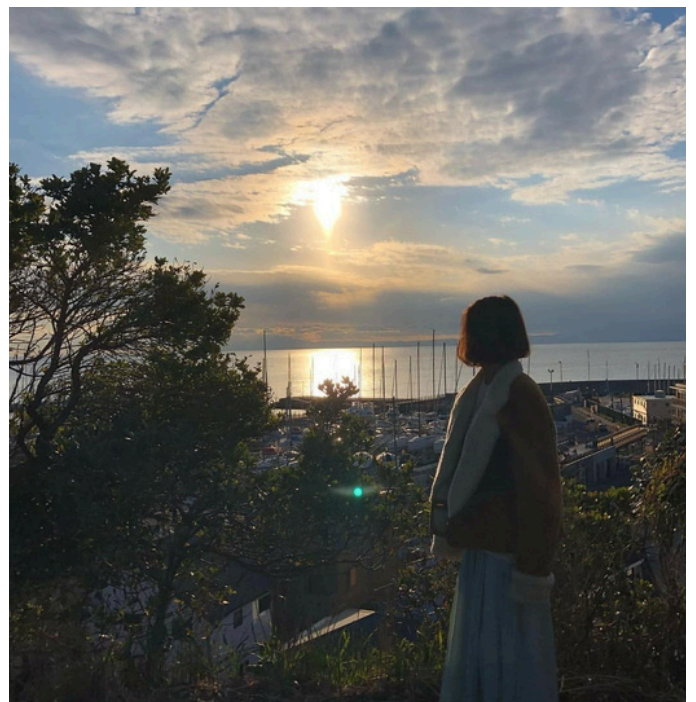
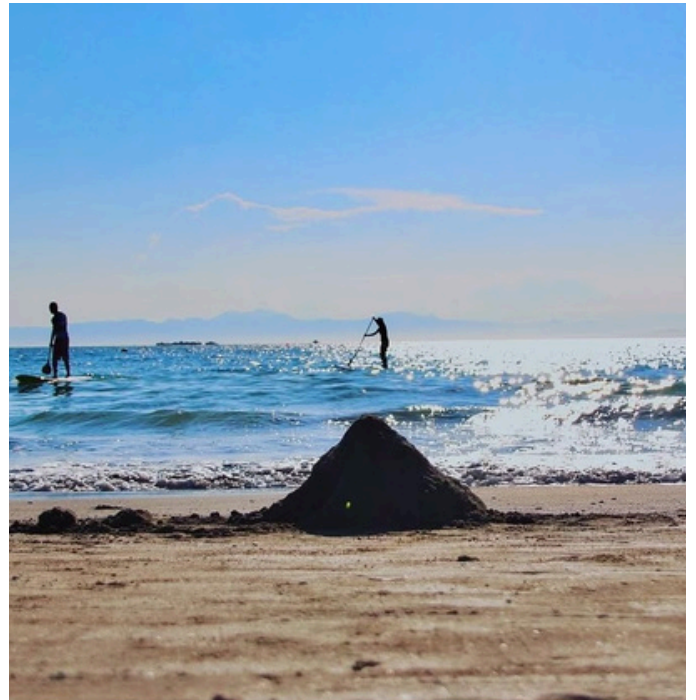
歩幅を合わせれば、一步入った葉山の暮らしの素顔が見えてくるはず。

訪れる側も、受け入れる側も、互いに思いやりをもって、互いにより心地よく過ごしたい。

町民の一員となったつもりで、
葉山の歩幅で旅してみませんか。



PHOTO by @hayama_official





レスポンスブルツーリズムとは 6つのお願い



PHOTO by @yoshinon_photo_

今、世界的に取り入れ始められた新しい旅のかたち、レスポンスブルツーリズム＜責任ある観光＞がさまざまな観光地で浸透してきています。

レスポンスブルツーリズムとは、その地域の環境、文化、住民の暮らしへの負荷を少なくする旅のかたちです。観光客がその地域へ敬意を持ち、配慮する行動を取ることを言います。

こういった流れを踏まえ、葉山町観光協会では、葉山に訪れる観光客の皆様に向けて、令和6年11月からレスポンスブルツーリズムの周知啓発を始めています。

葉山町行政は、これまでの観光協会の取組みに共感し、そしてこれから共に取組みを推進していきます。そこで、観光客の皆様へ、葉山の暮らしの一員として、互いに思いやり、心地よく過ごしてもらうための6つのお願いを提案します。



葉山町レスポンスブルツーリズム 6つのお願い

1 静けさという贅沢を楽しみましょう - 夜はお静かに -



2 外出時のごみは持ち帰りましょう - 葉山は県内最多の28分別 -



3 暮らしを感じる「葉山歩き」 - 公共交通機関を利用しましょう -



4 生態系を守るために - 海や山のものは持ち帰らない -



5 海や山のレジャーは自己責任で - 体調管理は万全に -



6 地元のお店で、ていねいに - 濡れた水着・砂だらけは迷惑です -



No.1 静けさという贅沢を楽しみましょう -夜はお静かに-



PHOTO by @roshi_1010

葉山は、飲食店などのお店と住宅が非常に近接しています。そして、夜の葉山のゆったりとした静けさは、この町の魅力であり、住民にとっても大切な生活の一部です。夜は、大きな音を立てず、波音や風の音に耳を傾ける、贅沢な時間を過ごしましょう。

旅先での行動・言動は、地元の人々の記憶に深く刻まれます。葉山で暮らすひとりとして、節度ある行動をとりましょう。



No.2 外出時のごみは持ち帰りましょう - 葉山は県内最多の28分別 -

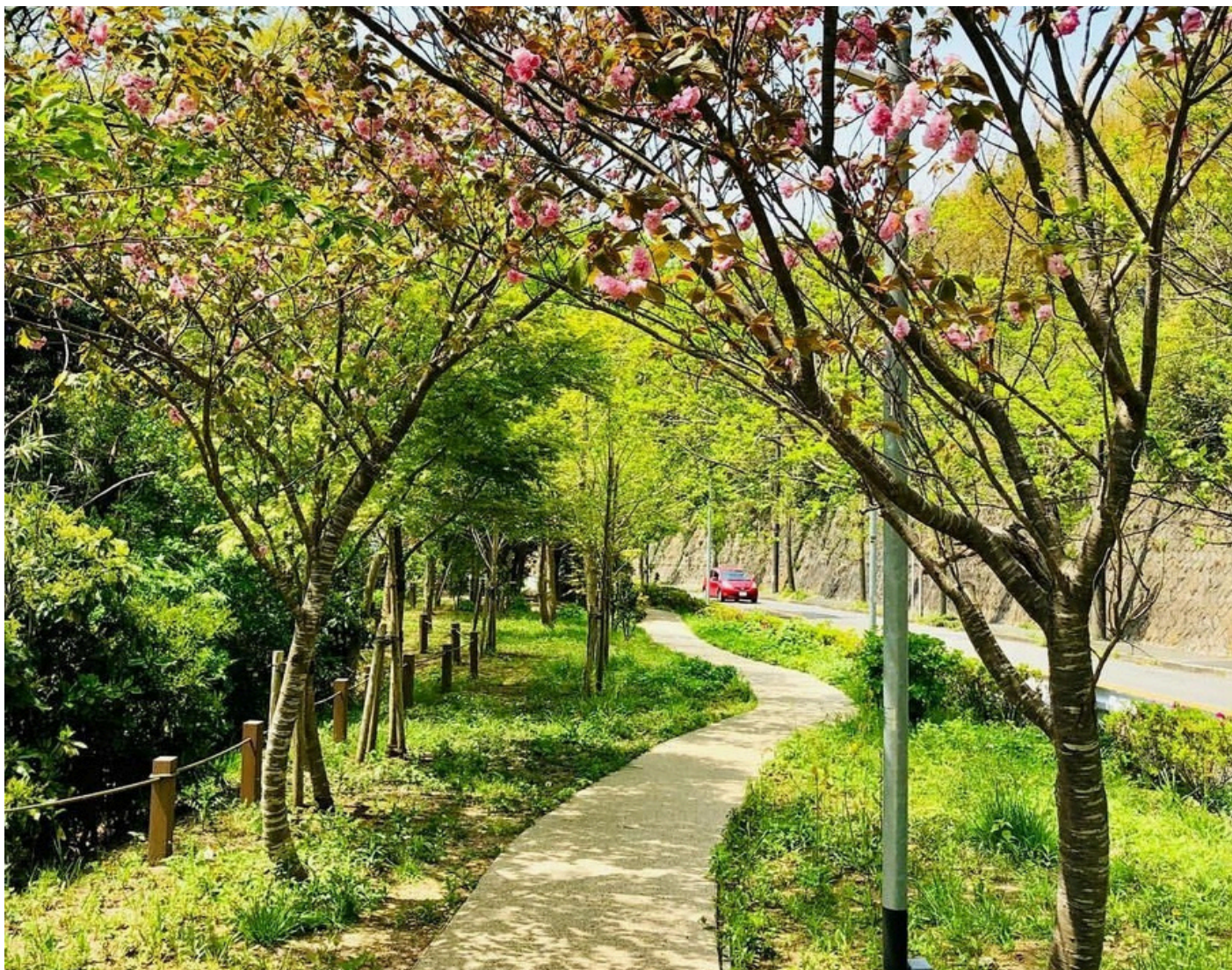


PHOTO by @takashi_shibasaki

この美しく豊かな自然環境を未来へ受け継いでいくために、葉山はゼロ・ウェイスト社会（ごみのないまち）の実現に向けて様々なことに取り組んでいます。

例えば、

- ・神奈川県内最多の28のごみ分別を行っています。
- ・家庭の生ごみを分別収集し、堆肥化する資源循環型の取り組みを進めています。
- ・町独自の環境配慮の取り組みである「はやまクリーンプログラム」の一環で、マイバッグ、マイボトル、マイタンブラーの利用を推進しています。
- ・町内にはごみ箱を設置しておらず、観光客の皆様にはごみの持ち帰りをお願いしています。
- ・環境を守るために、自主的にビーチクリーンなどの清掃活動をしてくださる方が多くいます。

こういった取り組みの一つひとつは、町民の皆様のご理解・ご協力のもとに成り立っています。

未来の葉山のために、葉山に来たあなたにも、町の想い・取り組みを理解して、利用する場所・施設のルールを必ず守り、ごみの持ち帰りとごみの分別の徹底をお願いします。





PHOTO by @hayama_official

No.3 暮らしを感じる「葉山歩き」

ー公共交通機関を利用しましょうー

葉山を楽しむには、まち歩き「葉山歩き」がおすすめです。
葉山歩きを楽しむための2つのポイントがあります。

- ・公共交通機関を利用しましょう

葉山には駅がありません。

そう聞くと車での移動が便利そうに思えますが、道路は狭く、
運転に慣れた人であっても苦労することもしばしば。

駐車場も少ないため、路線バスをメインに徒歩、シェアサイク
ルをプラスした移動手段がおすすめです。

通りから一步入れば小径（こみち）が多くあります。

フラッと入った小径では、素敵な暮らしの風景に出会えるかも
しれません。

小径には元気な高齢者の方、犬の散歩をされている方、そし
て、遊んでいる子どもたちなど、さまざまな人たちがいて、み
んながそれぞれの葉山の暮らしを楽しんでいます。

そんな暮らしを歩きながら楽しんでください。

歩くときは、広がって小径を塞がないように気を付けて。

- ・路上駐車はやめましょう

葉山は高齢化率も高く、100歳以上の元気な町民の方も多くお
住まいで、また、犬を飼っている方の割合が県内で有数の高さ
のまちです。

車が無いと不便なまちかもしれませんが、もし、車を使うとき
は、安全・安心な暮らしのために路上駐車はやめましょう。

参考：町内の時間貸し駐車場の料金目安

夏期…30分500円～最大料金なし

夏期以外…30分200円～最大料金あり



No.4 生態系を守るために -海や山のものは持ち帰らない-



PHOTO by @asu_chan_chan

美しい自然環境を未来へ守っていくために、動物・植物・岩石などの自然のものは採集せず、観察して楽しみましょう。
海・山ともに動植物や岩石を観察したあとは、必ず元の場所に帰りましょう。

葉山では、美しく豊かな自然を守る活動をしてくださっている方・団体が多くいます。

そういった方々は、

「あの花、見た?」「どこの花のこと?」

「あの杉の木の裏に咲く紫の花のこと。先週咲いたね。」

という風に、葉山の自然を隅々まで知り尽くしています。

そういった活動をしている方々への感謝と敬意を持ち、節度ある行動をとりましょう。



神奈川県HP/
磯遊びのルールを守りましょう





No.5 海や山のレジャーは自己責任で - 体調管理は万全に -

海や山の自然のなかでは、様々な配慮が重要です。

まずは自分自身の体調への配慮です。

体調が悪いときやお酒を飲んだときは絶対に海で泳がないこと。

潮の満ち引き、風の向き・強さなどを確認して沖合に流されないよう気を付けましょう。

山では電波状況が悪い場所があるため注意が必要です。

葉山の山は低山で、木々に囲まれているため見通しは良くなく、実際に年間数件の遭難事故が発生しているなど、自分のいる場所がどこか分からなくなってしまうこともあります。

入山時刻や天気などにも配慮しましょう。

次に、自然環境への配慮です。

自然を守るために、直火での焚火やBBQは絶対にしないでください。

自己責任で、海や山の自然を楽しみましょう。

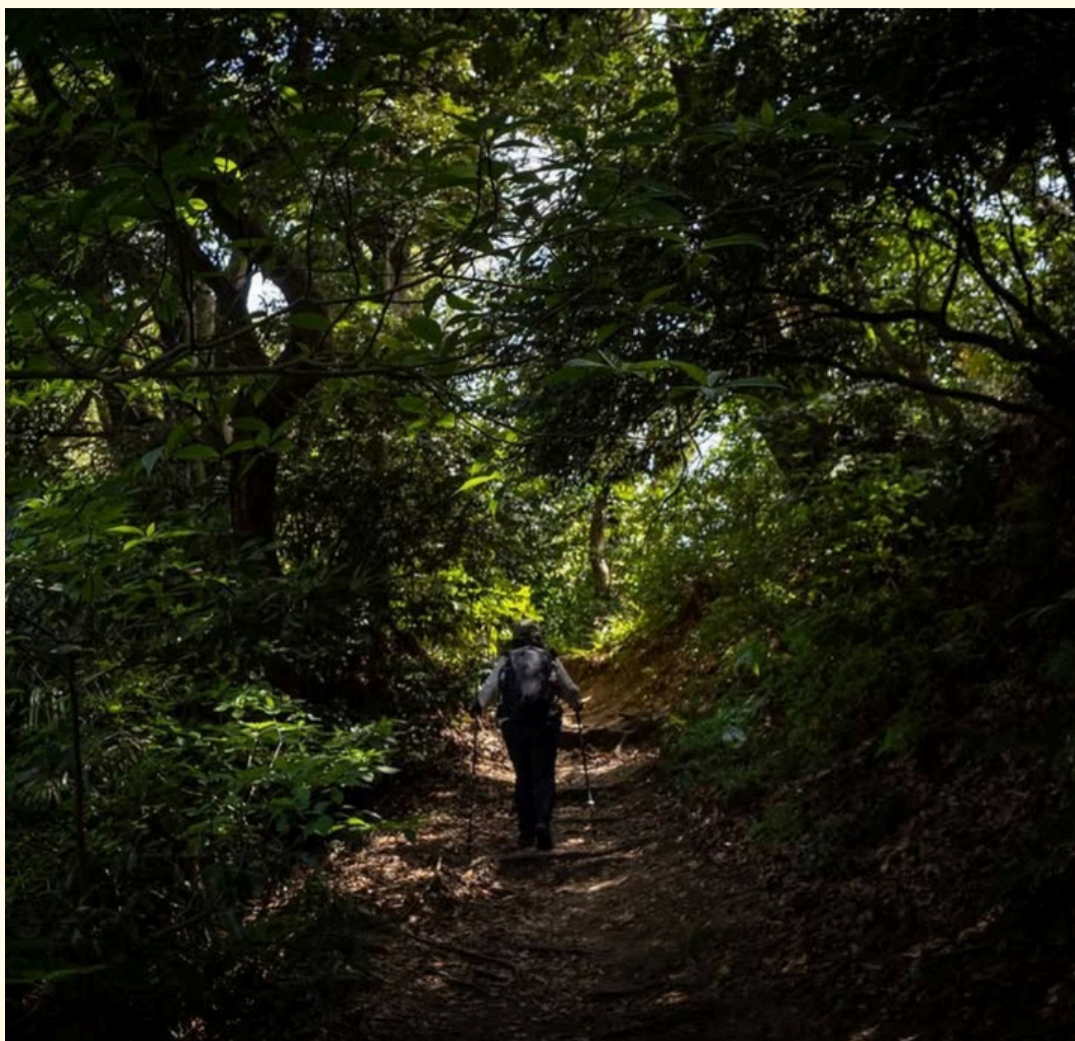


PHOTO by @marehito_sayama





葉山には、おいしい特産品が多くあります。せっかく葉山に来たのなら、地元のお店で、おいしい旬の地魚や、葉山野菜、葉山牛・葉山クイーンビーフなどを楽しむのも旅の醍醐味の一つ。

楽しむためにも、マナーと節度をもって行動しましょう。

濡れたままの格好や砂だらけの状態でお店や公共機関を利用するのはやめてください。葉山では、海岸のすぐそばにも住宅が多くあり、町民の暮らしがそこにはあります。水着や露出の多い服装で歩くと、地元の人たちは驚いてしまいます。

また、飲食店は地元の人人も利用します。大人数での来店は事前に予約や確認をしておくスムーズです。

お店で出会う地元の人たちと、互いに気持ちよく過ごすためにも、思い切ってあいさつしてみてください。
あっという間に地元の一員になれるかもしれません。



PHOTO by @wmjpadg_a







HAVE A GREAT TRIP! WITH RESPONSIBLE TOURISM.

表紙の写真

PHOTO by @sawalog_shonan

2 ページ目の写真

1	2
3	4

1 PHOTO by @juma_ishii

2 PHOTO by @yasu.soccer.hobby

3 PHOTO by @ellies_bouquet

4 PHOTO by @megu220707

11ページ目の写真

PHOTO by @hayama_official

12ページ目の写真

1	
2	3

1 PHOTO by @mayuko.maimai_78

2 PHOTO by @makani.makani.aloha

3 PHOTO by takahi_ro.nakamu_ra

裏表紙の写真

PHOTO by @_mellowmoon

監修・編集・発行 2026年7月



葉山町

- ・ 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地
- ・ TEL : 046-876-1111
- ・ <https://www.town.hayama.lg.jp/>



葉山町観光協会

- ・ 神奈川県三浦郡葉山町長柄1583-17
(葉山ステーション内)
- ・ TEL : 046-876-8824
- ・ <https://www.hayama-kankou.jp/>



PHOTO by @hayama_official

